郷古 廉 × 横坂 源 × 横山幸雄

熱狂コンチェルト2024

［管弦楽］日本センチュリー交響楽団
［指揮］現田茂夫

ブラームス：
ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77〈郷古 廉〉

サン=サーンス：
チェロ協奏曲 第1番 イ短調 op.33〈横坂 源〉

リスト：
ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 s.124〈横山幸雄〉

2024 7.20（土） 14:00開演（13:00開場）
S：7,700円 A：6,600円 B：5,500円（税込） 主催：ザ・シンフォニーホール

ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333（火曜定休） https://www.symphonyhall.jp

プレイガイド
■ e+（イープラス） https://eplus.jp/symphonyhall（パソコン・携帯） ■ ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall［Lコード：53169］
■ チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/［Pコード：255-026］

※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

郷古 廉 × 横坂 源 × 横山幸雄

熱狂コンチェルト2024

ザ・シンフォニーホールの人気シリーズ「熱狂コンチェルト」は、2024年も開催される。ロマン派を代表するコンチェルト3曲に、日本の音楽界を牽引する3人の男性アーティストが挑む。

郷古　廉が演奏するのは、ブラームスの円熟期に作曲された《ヴァイオリン協奏曲》。NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターを務める若き名手だ。ミュンヘン国際コンクール2位を受賞し、着実に深化を続ける横坂　源は、フランスの器楽の興隆に貢献したサン＝サーンスの気品あふれる《チェロ協奏曲 第1番》を披露する。そして、ピアノのヴィルトゥオーソ横山幸雄が演奏するのは、リスト《ピアノ協奏曲 第1番》。彼は、「国際F.リスト賞」グランプリを受賞するなど、リスト演奏でも評価が高い。日本が誇る個性豊かな3人のソリストと現田茂夫＆日本センチュリー交響楽団の共演は、聴く者の心を強く揺さぶることだろう。

文・道下京子

[指揮] 現田茂夫 *Shigeo Genda, Conductor*

© K.Miura

1979年東京音楽大学指揮専攻に入学。汐澤安彦、三石精一両氏に師事。1982年東京藝術大学指揮専攻に入学。佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。他、国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。1994年のプラハの春での佐藤しのぶコンサートは全ヨーロッパで放映された。オペラ指揮者としての経験は豊かで二期会21、関西二期会、錦織健プロデュースオペラ、佐藤しのぶ「夕鶴」公演等、歌手からの信頼も厚い。NHKのFM「シンフォニー・コンサート」のパーソナリティを長年務める等バラエティに富んだ活動を行なっている。2023年からは東京藝術大学指揮科客員教授として後進の指導にもあたっている。

© Hisao Suzuki

[ヴァイオリン] 郷古 廉 *Sunao Goko, Violin*

2013年8月ティボール・ヴァルガ シオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝ならびに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ポッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。ジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。

使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ（Banat）。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。2023年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。

© Takashi Okamoto

[チェロ] 横坂 源 *Gen Yokosaka, Cello*

桐朋学園女子高等学校、同ソリストディプロマ・コースを経て、シュツットガルト国立音楽大学、フライブルク国立音楽大学にて学ぶ。全日本ビバホール・チェロコンクール第1位、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。室内楽部門では2009年に全ドイツ学生音楽コンクールで第1位を受賞。その他出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞等多数受賞している。

13歳で東京交響楽団との共演でソリストデビュー。近年は協奏曲の日本初演を多々行うなど勢力的で、2023年11月には、野平一郎指揮「三善晃：チェロ協奏曲第2番『谺つり星』」に取り組んだ。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人。

© アールアンフィニ

[ピアノ] 横山幸雄 *Yukio Yokoyama , Piano*

ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶ演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には自らのギネス記録を更新。更にショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させる。また、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げた。最新CDは、デビュー 30周年記念「横山幸雄ショパンピアノ協奏曲第1番＆第2番他」（Sony Music）。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、故中村紘子女史の遺志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。

オフィシャルサイト https://yokoyamayukio.net

©Masaharu Eguchi

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。 *Japan Century Symphony Orchestra*

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。

オフィシャル・ホームページ　https://jcso.or.jp